

山梨県 桃の会

会報 第 98 号

相手にとっての良かれを

良かれと思うことと

相手にとって良いことは違う

良かれはこちらの思い込みで

果たしてして相手が望んでいるのか・・・

多分そうかも知れないという曖昧さが

無理解につながるのかもしれない



相手の意思はどこにあるのか

もう一歩理解を深めてみたい

たとえ相手が失敗したとしても

失敗から多くのことを学べることを、後悔がないことを

私たちはすでに知っているはずなのだから

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> e-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

ピア Voice

『桃の会に求めるもの』 10月ミニグループトークより 今回参加された皆さんからの御意見です

◆ 学びたい

- ・ 一歩前に進める方法
- ・ 色々な情報を集めたい
- ・ 子供との接し方を学びたい
- ・ 事例をもとに体験談を聞きたい
- ・ 他県のモデルケースを参考にする
- ・ モチベーションを上げる為に交流などの刺激が必要
- ・ 障害者年金申請などの話を専門家に聞きたい

◆ 聞いて欲しい

- ・ アドバイスが欲しい
- ・ 心の声を聴いて貰い共感し合うこと
- ・ テーマを決めず、言いつぱなし、聞きつぱなしでざっくばらんに話したい
- ・ 深刻に考えないでただ話せばいい、ほっておけば自然に回復する

◆ 相談したい

- ・ 一緒に考えて欲しい どのようにしたら何かをするようになるか
- ・ 何をどうすれば良いかわからない、何も変わらない状態を何とかしたい

◆ 兄弟姉妹グループから

- ・ 自分を大事にしながらどうやって親や本人と関わることが無理なく出来るかを知りたい
- ・ 他の人との意見の擦り合わせの場と考えている
- ・ ひきこもりは珍しくなくなってきたので家族の心を癒す交流の場としてイベントに参加したりレストランで食事しながら話す方が楽しく参加しやすいのではないかな

皆さんから沢山の御意見を頂き有難うございました。これからの活動へ参考とさせて頂きたいと思います
まだまだ「どうすればいいかわからない」という方がいらっしゃるその方たちを何とか光のある方向に
背中を少しでも押せることができたと思います。

反面気楽に話しが出来ればそれでいいという意見も出ました。更に野外やイベントに参加したりレストランで食事をしながら話す・・・という意見もあり、それはひきこもり家族会以外で行うことと感じております。家族会は自分や子供と向き合い真剣に話し合い学ぶ場所で、その場しのぎの癒しは表面的で、心の奥の苦しみを軽減するための気付きには及ばないと思うからです。

又、堅苦しく深刻にならないでひきこもりは放っておけば自然に回復するという乱暴な意見もありましたがひきこもることは自然治癒するものではなく家族関係の見直し、当事者への理解の深め方など様々な問題が絡み合っていてそれと向き合い絡みあった糸をほぐしていかなばなりません。「今ではひきこもりが珍しくなくなってきた」という発言にはひきこもることに慣らされていく社会を感じました。ひきこもることが蔓延し当たり前のようになる社会はとても生き辛く孤立した社会です。それに慣らされ流されて問題意識を持たなくなることが一番怖いのです。

ひきこもりには深く根本に根差した様々な問題が絡みあっています。それらから目を反らさないように
する事、それが大事であることを皆さんの御意見から改めて思ったことです。 shinohara



当事者 Voice

10月当事者スペースの報告

10月16日(日) 13時～16時 山梨県立青少年センター 4階和室

参加当事者・経験者(5名) 桃の会関係者(1名)

**スペースにおける内容

グループトーク・・カフェに一人で行ける?、好きな音楽について、パソコン、地図を見るのが得意、不得意?参加者の方の近年の生活と困っていることなどの話しについて質問も交えながら聞く、最近の体調について何名かが話をした

**世話人たちの感想(今回は2名)

それぞれの近況や、普段の日常での悩みのお話が聞けました。"何が気になり、何に困ってしまうのか"というタイプが本当に一人ひとり違うことを改めて実感しました。

また、少し話がズレますが、午前中のミニグループトークでは『桃の会に求めていること』というテーマで皆さんと意見交換をしました。これは当事者スペースでも例外なく、来ていただく方たちが求めていることを時間はかかってしまうかもしれませんが、ひとつひとつを皆で協力しながら創り上げ、より良い居場所にするのが大切であると考えられるのではないのでしょうか。

今回は桃の会としても初めての利用となります甲府市東部の県立青少年センターの和室を会場として当事者スペースを行いました。今から7年ほど前には、市の北東公民館の和室を会場としていた時期もあり、それ以来でしょうか。和室ならではの良い雰囲気と言うものもありますが、やはりイスがあった方が楽ですねとのご意見もあり、スペースの会場もこれから考えていきたいと思います。 米長



テーマトークの報告 10月8日(土) 13時～ 福祉プラザロビーにて

**テーマ『フリーテーマ』参加者6名(当事者4名、親2名)

いつもお世話になっております。スタッフのたきざわです。

今回のテーマはフリー、自由にそれぞれ意見を言う形で行いました。やはり人の悩みや辛さは様々ですね。少しでも思いを吐き出せた場になれたのではと思います。そんな中、気になる話題が出ました。それは"発達障害と知的障害の違い"です。各機関や行政の扱い方という事情もありますが、そもそも症状が似ているようで実は全く違うことに驚きました。更に言うと、昔僕は発達障害や知的障害は怒りっぽくなってしまう病気というイメージを持っていました。ここ数年、桃の会で活動をしていくうちに、それらの誤った知識が修正され、そしてこのテーマトークで新たな学びを得られました。"ひきこもり"の裏には、こうした障害が多くケースに存在します。この問題とどのように向き合うか...答えは無いのかもしれませんが、その行動そのものに重要性があるのではないのでしょうか。。。

桃の会・都留の報告



都留市社会福祉協議会と健康子育て課の担当者の方に参加して頂きとても有意義な会となったと思います。11名の方々が参加されその中で当事者の親子さんが7名(始めての方1名)でした。

考え、悩んでいる方々が来て良かったと思って頂けるようにこれからも進めて行きたいと思います。

野武

桃の会 11 月の活動



11 月はミニグループトーク、当事者スペース、テーマトークを行います。

今年もあと 2 か月あまりになりました。桃の会の活動も一年一年が慌ただしく過ぎていきます。

季節の移り変わりの中で皆様如何お過ごしでしょうか。中々皆さんの個々に届く活動に及ばず申し訳なく思っております。これからも社会の中で増え続けていくだろう「ひきこもり」たとえ社会に出たとしても生き辛さを抱えて孤立することが多くなるように感じております。ひきこもることが段々特別の事ではなくなり問題として感じなくなる社会はとても怖いことです。この現象の怖さとは生き辛く孤立していく社会が益々色濃く広がっていき、人と人との関係の中で学べる機会がなくなること、そして人が自己中心的になっていく事だと思います。そのような社会の変化が当たり前になり、違和感を感じなくなってからではすでに遅いと思うのです。子供、きょうだいのひきこもりを体験している私たちが周りに流されることなくまずこの問題にしっかり向き合わなくてはならない・・・と強く感じます。

この集まりが大事な気付きの場になって欲しいと願います。

▶ **ミニグループトーク 11 月 20 日（日）10 時～ 県立青少年センター第 2 会議室 一家族 ¥ 500**

テーマを投げかけてトーク、兄弟姉妹・親グループに分かれます

当事者無料

▶ **当事者スペース 11 月 20 日（日）13 時～ 県立青少年センター和室**

参加費無料

▶ **テーマトーク 11 月 12 日（土）13 時～16 時 福祉プラザロビー 参加費無料 お申込み不要です**

テーマ『当事者スペースに求めるもの』

▶ **桃の会・都留** **今回は都合によりお休みさせていただきます。**

＊ ＊ コロナ感染防止のためマスクの着用のご協力をお願い致します



お知らせ！・・・ 兄弟姉妹が集まっています！！

ミニグループトークの中で親グループとは別に兄弟姉妹グループをもうけています

きょうだいのことでお悩みの方、きょうだいとしてできること、できないことを話してみましよう。

少し気持ちが楽になります！

◆ **12 月の予定 ミニグループトーク 12 月 18 日（日）10 時～ 山梨県立青少年センター**



当事者スペース

12 月 18 日（日）13 時～ 山梨県立青少年センター

テーマトーク

未定

桃の会・都留 12 月 12 日（月）いきいきプラザ都留（変更する事があります）



募集しています！！ 皆さんの声を募集しております！日々の想いやちょっとした出来事など大歓迎です。

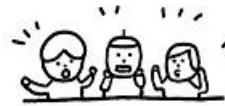
どうぞお気軽に桃の会事務局のメールアドレスまたは Fax でお送りください。お待ちしております。

お問い合わせ 桃の会事務局 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp Fax 0266-78-3742 篠原

Tel 0551- 47- 4040 080-9400-4187 井口

桃の会・都留事務局 e-mail / hiroko.samasara@icloud.com 080-1282-2576 野武

・ ・ ◆ 桃の会の活動について ◆ ・ ・



■ 当事者スペース・テーマトークってどんなところ？

それぞれ月一回の、当事者がメインの集まりです。年齢は問わず、様々ですが、だいたい 20 代から 50 代位の方が集まっています。参加費は無料で、お申し込みの必要もありません。また、ご家族や付き添いの参加も可能です。今まで参加していただいた当事者からは『人との関係が作りにくい』

『話すのが苦手』『他者とのつながりが欲しい』…など、こうしたお声を多く聞きます。当事者スペースは自由に、テーマトークは一つ的话题(一部例外あり)を決めて少し掘りさげて話します。人には話せないと思っていたこと、心にずっとひっかかっていることなど…まず小さなつながりから負担のない程度に始めてみませんか？。。。

参加費 無料



← 桃の会 LINE アカウント

■ ミニグループトークとは ・ ・



毎月一回の開催で親グループ、兄弟姉妹グループに分かれ、4~5 人のグループに分かれてトークします。

「話す」「聴く」ということを基本にしてテーマに沿って、又は自由に話すこともあります。当事者の参加も可能です。トークの終わりにお互いグループ同士でシェアします。

・ ・ ・ 何のための集まりでしょうか。

ひきこもりを止めさせたい、仕事をしてほしい、普通になって欲しい ・ ・ と相手に変化を期待し求めるためではありません。

みんなが抱えている想いを大いに話し問題を出し合い共感しながら、親の立場でどのような方法があるか検討し考えることで気づきを得て、相手への理解と自分への理解も深めていくことを目的としています。

参加費 一家族 500 円 当事者 無料

・ ・ ・ 兄弟姉妹グループ



きょうだいの立場できょうだいのひきこもりにどのように向き合っていくかを考えてみます。

月一回のミニグループトークの中で行われ、親グループと兄弟姉妹グループに分かれてトークしています。

大体 3 人から 4 人の方が集まっています。

きょうだいの問題は親が高齢になったり亡くなられた時現実のこととして生じてきます。

きょうだいのことでお悩みの方、相談したいと常々考えている方、行政の支援も含めてサポートしていく方法を一緒に考えてみましょう。話すことで少し気持ちが軽くなるかもしれません。



■ ピアサポートについて

仲間同士によるサポートです。定期的、又は不定期に行っています。ミニグループトークでは個々に聞き取りにくいことが沢山あります。様々事情や環境など更に聞きながら今後のことを行政、支援窓口と連携しながら一緒に考えていきます。親同士、当事者同士お互いの信頼の中で成り立ち出来ることだと思います
参加費 無料



■ 桃の会・都留の活動

昨年5月から少人数ながらトークを中心に活動しております。山梨県の峡東地域は甲府から距離があり支援の届きにくい地域であったように思います。甲府の集まりに参加しにくい方々の為の居場所になればと思います。地域的に閉鎖的で保守的であるため声を挙げにくいという問題もありますが、都留市社協や健康子育て支援課のご協力を得ており毎回集まりにも参加頂いていますことはとても心強いことです。窓口担当の方のお話しによれば確実に不登校は増えているとのこと、水面下にはまだまだ声を挙げない方も多いのではないのでしょうか。

まずひきこもりに対する偏見を無くし、閉鎖性に風穴を開け、様々な価値観を取り入れ、本当に人として大事なものは何かを考えていく会になればと思います。

参加費 無料

＊＊桃の会・都留の10月の集まりに参加しました

参加家族の方は少ないですが、人数の問題ではなく少ないことはその方々の話しをしっかりと聴くことができる機会だと思いました。二組の家族が切実に話されるのが印象的でした。子供のその状態は背景に必ず今まで知らず知らずに積み上げてきたものがあり今それらと向き合わなくてはならない状況に追い込まれたということだと思います。

その背景にはその子の生まれもった特性や親の育て方、周りの環境など様々な要因が絡みあい影響を与えた結果だと思います。まずそれらを受け止め子供への理解に徹し今何が出来るかを考えるということだと思います。ただ子供への理解は子供に迎合することではなく、あいメッセージでNoを伝えられなくてはならないと思うのです。親や周りがそれぞれの都合を優先して人としての本質的な道筋を見誤らないことがとても大切だと感じています。

会としても一つ一つの小さなことをどのように積み上げていくかが大切なのだと思います。

集まりには社協の方や健康子育て課の方々がいつも会に参加下さり私たち家族の声を直に聞いて下さり家族会との連携をよりスムーズに身近な存在としていてくださることは、とても恵まれた環境であることと
思いました。感謝申し上げたいと思います。